

大ホールの改修完了まで、あと少し！！

客席エリアの改修状況と現在の様子についてご報告します！！

改修前



天井の解体、壁の強化のため客席エリアに足場を設置/令和2年9月頃



天井を塗装後、足場を解体/令和3年8月



席中席を撤去、令和2年8月頃

【空調】

●客席の下から効率的に届く空調方式に変更することで、快適さと省エネルギー化を両立します。

【座席】

●ゆとりある座席幅にし、ゆったりと舞台を観賞していただけます。
●前後の座席をわずらひに配置することで、前席のお客様と被らずに舞台観賞ができます。
●客席後方からの舞台の見やすさを改善し、より良い鑑賞環境を実現します。
●座席デザインは新国立競技場と同様、3色のモザイク状とすることで客席の賑わいを演出します。

【壁面】

●暖色系の木質壁を組み合わせることで、落ち着いた温かみのある内装になります。
●壁面の反射音を改善し、生演奏の響きの良さに加え、台詞が聞き取りやすくなるなどバランスの取れた音響空間になります。

【照明】

●反射板は、直接客席に届く音を補強する大切な役割があります。舞台上で忘れられた生音の大きさや明暗を確保するには、壁面や天井の形状が大事。

【天井】

●大地震への安全対策等のため既存天井を撤去しました。
●天井にも反射板を新たに設置することで、舞台の音を客席に届きやすくします。
【バリエーション対応】
●車いす席数は従来2倍以上に増加します。客席の後方部分に加え、新しく中央部分にも設置します。
●多目的ルームは、より舞台の近くに配置したほか、車いすの方でも利用しやすく改善します。
●手すりや手かかを整備するほか、立ち座りや移動のしやすい形状に客席を改善します。



床面を整え、新しい座席を設置/令和3年8月



バルテノン多摩では、
公演や展示会等の文化芸術活動を通じて、
多くの市民の皆様にごんごんいただけるような
魅力的な事業等の企画を募集します。

これまで多くの市民団体等が、バルテノン多摩を舞台に様々な文化・芸術に関連する事業を行ってこられました。令和5年度からは、多摩市内を活動拠点とする様々なジャンルの団体にもスポットをあてていきます。
今後、バルテノン多摩でその成果を発表する中で、市民や文化芸術に関心がある方々と一緒に鑑賞、堪能しながら、市民団体等による活動の魅力を広めていきます。

希望する団体は、以下の事項及び、バルテノン多摩ホームページで内容をご確認ください。必要書類等を期限内までにご提出ください。多くの団体が主体的に実施する素晴らしい企画をお待ちしています。

【条件等】

- 主な対象条件：①多摩市内に拠点を持つ文化芸術活動団体
②広く一般市民が文化芸術に触れる機会を提供できる内容であること、その他の条件等を満たすこと
●実施期間：令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日
●実施場所：原則としてバルテノン多摩
●実施費への支援：
①令和5年度内の先行予約(実施日は別途調整)
②その他

●応募先：10/15(金)～11/15(月)の間にバルテノン多摩ホームページより必ず当館までダウンロードし、記入後、郵送または持参
【郵送】〒206-0034 多摩市館敷1-24-1 新都市センタービル501号室
バルテノン多摩共同事業体(令和5年度公開事業部)宛
【持参】9:00～17:00 土日祝日除く(持参厳禁)

【問い合わせ】令和5年度公開事業部担当
電話：042-375-1414(9:00～17:00 土日祝日除く)
詳細はバルテノン多摩ホームページをご覧ください。

新しいバルテノン多摩の ココが変わる

充実したラインナップとともに、
市民の皆さんと一緒に感動し、
楽しく、学べる事業を行います！！

バルテノン多摩で催される事業を手がけるのが、多摩市文化振興財団の事業課です。演劇やコンサートなどの主催事業のプロデュースから、様々なアーティスト団体との共催・提携まで、バルテノン多摩の舞台芸術の要を担っているのは、10人のスタッフです。

事業課

休館中の現在も、地域で様々な活動を行っています。子どもたちを対象としたもの、大人も共に学べる、テーマ別の性別のある講座事業を行う一などなど、ご好評いただける活動を展開しています。

来年7月に迎ったグランドオープンに向け、様々なジャンル、内容のイベントを計画中。感動が得られる質の高い公演から、子どもたちも参加できる作品、市内の文化芸術団体、学校が行う発表会など、毎日でもたくさんするような展開を企画しスタッフ全員でお待ちしています。お楽しみに！

休館中の現在も、地域で様々な活動を行っています。子どもたちを対象としたもの、大人も共に学べる、テーマ別の性別のある講座事業を行う一などなど、ご好評いただける活動を展開しています。



新国立競技場の建設を機に、多摩市立図書館が、子ども読書活動推進事業の一環として、多摩市立図書館で、読書会を開催しています。



多摩市立図書館で、読書会を開催しています。

学芸員紹介



嶋崎万里子

元日本女子大学学生で博物館士としていたが、近年は、多摩ニュータウンをはじめ、広く多摩地域の歴史や暮らしなどの調査を行っている。学生さんにも博物館のことや、歴史調査の方法などを教える活動もしています。

● 嶋 仁 佳



植物などの生物多様性と触れ合う人や、動物の生態をテーマに調査しています。また、生き物や園いんだなど、お借りも承ります。小学校や公民館等に出席して、観望のお手伝いもしています。

ICTの活用も豊富に、収録資料検索システムとともに野外でも博物館の解説を聞いたり見たりできるアプリ「ポケット学芸員」を導入することにしました。人と技術の両方から、笑いのある地域まるごと博物館を実現していく予定です。

ミュージアムのどこが変わる?

新しいミュージアムには、多摩市立博物館の歴史や文化の計画的な継承、市民のみなさまからいただいたご意見やご要望を踏まえて、新しいミュージアムを創り出すことが必要です。そのため、地域のさまざまな方々とのつながりが大切で、新しいミュージアムを創り出すためには、市民や学芸員を新たな迎え、一緒に博物館づくりをおこなっていくことが必要です。新しいミュージアムでは市民や学芸員の新たな視点による多様な企画をご期待ください。

由紀あずまは、多摩市立博物館の歴史や文化の計画的な継承、市民のみなさまからいただいたご意見やご要望を踏まえて、新しいミュージアムを創り出すことが必要です。そのため、地域のさまざまな方々とのつながりが大切で、新しいミュージアムを創り出すためには、市民や学芸員を新たな迎え、一緒に博物館づくりをおこなっていくことが必要です。新しいミュージアムでは市民や学芸員の新たな視点による多様な企画をご期待ください。